

HONDA PUMPS 本多機工株式会社

*We Pump up
Environmental Technologies*

金融仲介の質の向上に向けたシンポジウム

2017年 3月23日

地銀は知っている？
生き残りを賭けた九州中小製造業の現状
「地方創生を目指して」

本多機工株式会社
代表取締役社長 龍造寺 健介

目次

- ▶ 企業概要
- ▶ 地方中小企業の現状
- ▶ グローバル展開について
- ▶ 100年企業を目指して
- ▶ グローバル化するアジアの企業
- ▶ 産業構造激変
- ▶ 内向きから外向きへ
- ▶ 地銀のダイバーシティ化
- ▶ 台湾と九州

会社概要

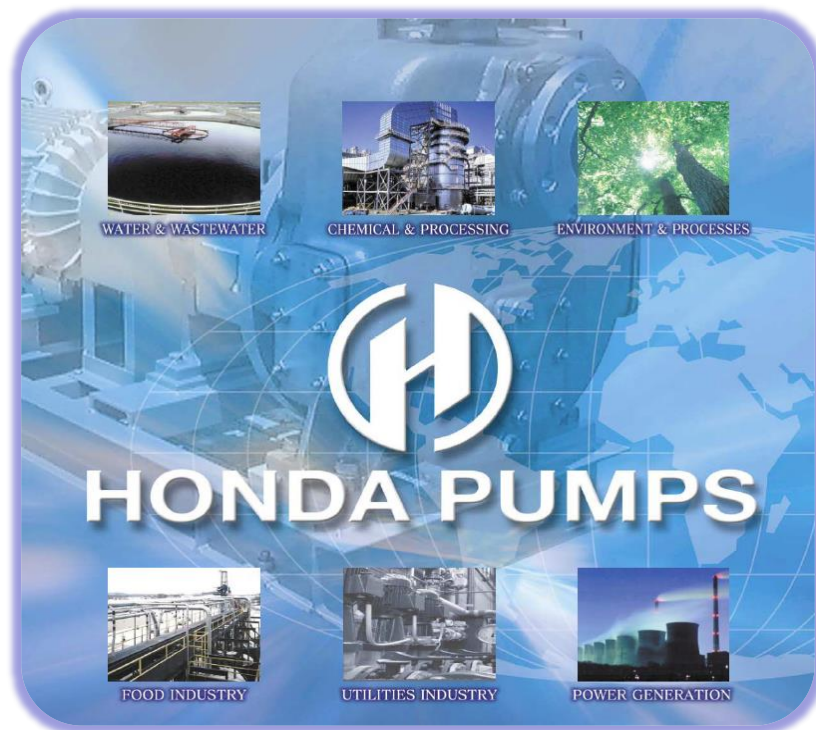
本多機工株式会社

- ▶ 設 立： 1951年9月1日(創業66周年目)
- ▶ 事業内容： 産業用特殊ポンプ設計・製造・販売
及びメンテナンス事業
- ▶ 本社工場： 福岡県嘉麻市山野2055
- ▶ 事 業 所： 福岡本部(祇園)
東京支店(銀座)
大阪支店(梅田)
カスタマーサービス(東京・大阪・福岡)
代行店(福岡・広島)
- ▶ 海外ネットワーク： 海外パートナー25社
{ ポンプメーカー 4社(アメリカ・ドイツ・デンマーク)
代理店・アフターサービス・エンジ会社 21社



工場の心臓 100%オーダーメイド

本多機工は世界No. 1に挑戦しています



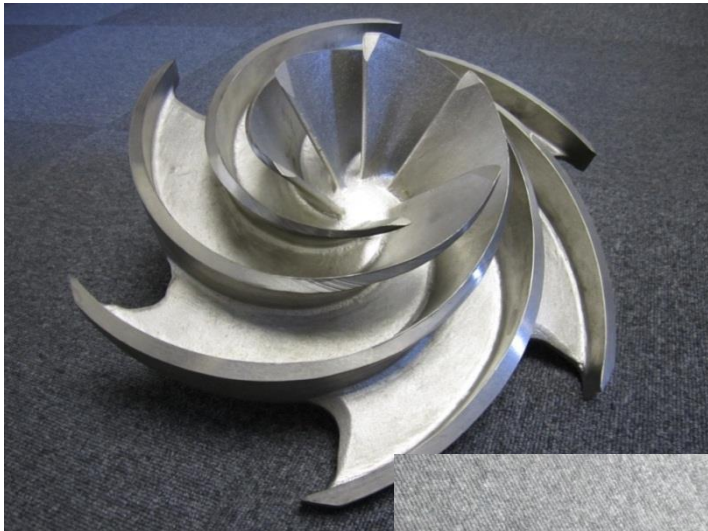
九州から世界へ
グローバル・ニッチトップ企業

社内グローバル化による
ダイバーシティ経営

信頼できる海外パートナーの拡大
のれん分け

常に環境にも配慮した
技術イノベーション

100年企業を目指します！



製品用途

ポンプは
工場の心臓です

工場があれば液体が有る、液体があればポンプが必要
すべての産業分野でHONDA PUMPは活躍しています



石油・化学
Chemical Industry



半導体
Semi-conductor Industry



鉄鋼
Steel Plants



自動車
Automobile Industry



食品・飲料
Food & Beverage Industry



水・廃水処理
Water & Waste Water Treatment



発電所
Gas Cleaning Power Plants

製品ラインナップ

特許取得
実績多数！

本多機工は、大手ポンプ
メーカーが取り扱わない
難しい使用条件や
特殊な液体にも
積極的に向き合います。



ラテックスエマルジョンポンプ



低NPSH自吸式ポンプ



渦巻ポンプ



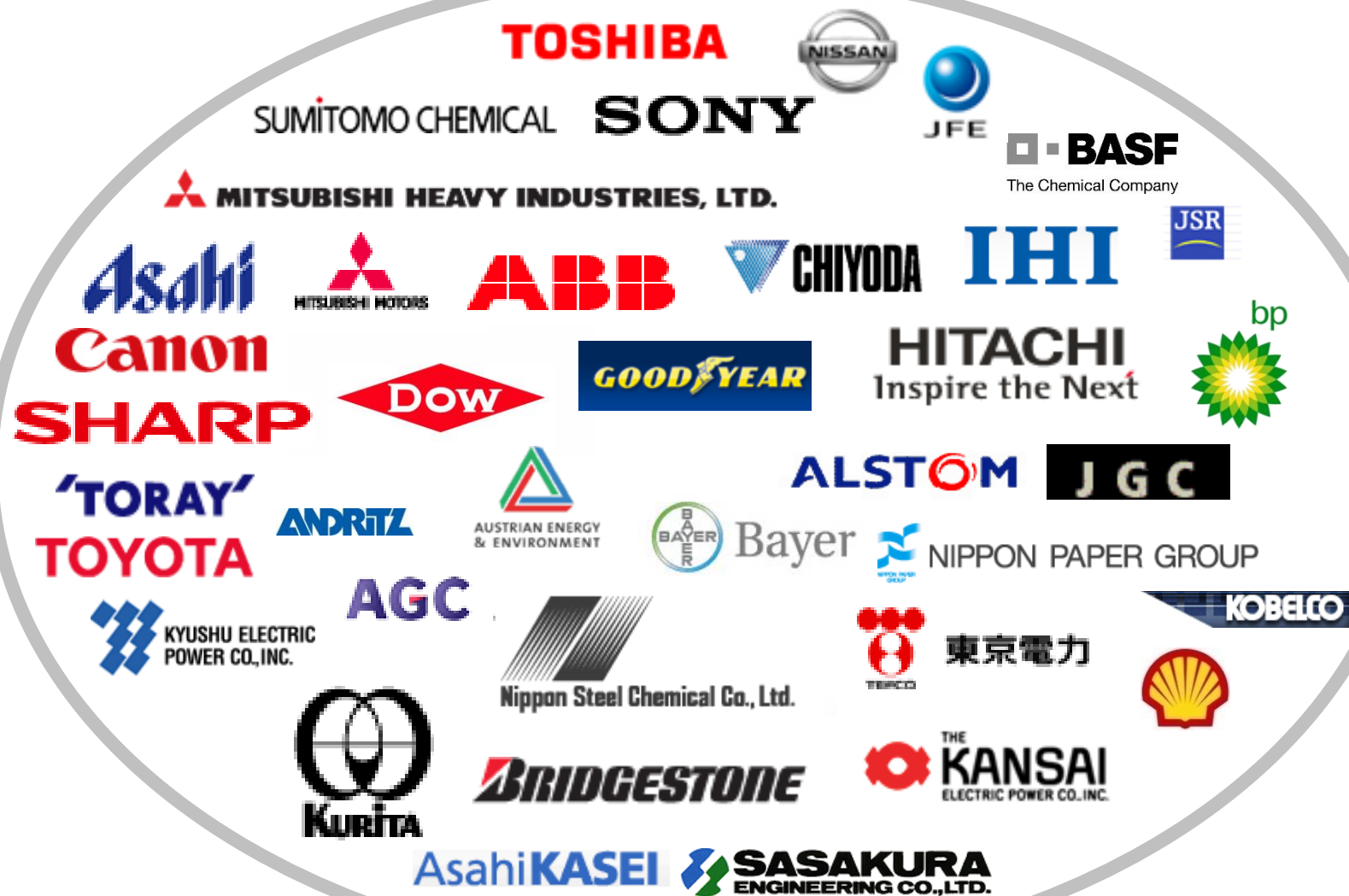
ハンクログ渦巻ポンプ



立軸渦巻ポンプ

100%
オーダーメイド

主要納入先



納入実績分布

国内に留まらず、全世界60ヶ国以上の
グローバルな展開をしています。

世界で通用する技術、九州・福岡から発信するポンプは、世界基準で認められています。



HONDA PUMPS 納入実績

▶ 発電所(原子力・火力・水力etc…)

国内外の電力会社の多くでHONDA PUMPが活躍している実績があります



▶ 国立天文台ハワイ観測所 すばる望遠鏡



▶ 地球深部探査船「ちきゅう」



HONDA PUMPS 納入実績

▶ ブルガリア

Maritza East III 発電所



▶ スペイン

SOTO/La Robla/
Narcea 発電所

2007・2008年納入

排煙から
大気を守る環境技術
排煙脱硫設備用
ミネラルキャストポンプ

▶ ポルトガル

SINES 火力発電所

2007年納入



HONDA PUMPS 納入実績

- ▶ インド Tesla Liquid Engineering社
マイクロナノバブル発生装置での排水処理



〈グジャラート州の水処理施設〉



インドの水市場は世界最大!
関連産業は約4300億円以上の
経済価値がある。
内 1/3が工業用の水処理。

- ▶ タイ Fast Flow Co. Ltd. 社
マイクロナノバブル発生装置での排水処理



〈タイNo.2の食品会社チキン加工工場の排水処理施設〉

日本の中小製造業を取り巻く厳しい現状

- 少子高齢化・生産労働人口の激減・人材不足
- 次世代への技術・スキルの継承
- 生産革命・IOTを用いた自動化など
- 内需の大縮退・行き詰まる国内設備投資
- グローバル化により広がる 海外市場
- 為替リスク、 関税の壁、 物流の壁
- 模造品との闘い & 知的財産保護
- グローバル化による 排外主義
- グローバル市場ニーズの不透明な方向性
- Made in Japan規格 VS 海外規格
- 複雑化する海外取引条件
- 法人税格差

グローバル展開の背景

今こそ、世界中にチャンスがいっぱい転がっている！

チャンス

急速なグローバル化の波

困っているのは日本企業だけではない・・・
海外の企業・国々、特に中小企業も
グローバル時代にどう対応すべきか模索中

パートナー企業である同業メーカー2社とは、
先方からのアプローチにより提携

チャンス

水ビジネスの需要拡大

成長するアジア諸国には必ず水ビジネスが・・・
日本の水処理・飲料水・海水淡水化の技術は
世界をリードしている

グローバル展開の背景

「**日本のものづくり**」は、
世界で **まだ** 十分通用するという自信と認識

巨大アジア市場という大きなポテンシャル
「アジアの玄関口」としての **地の利** を活かす

高度外国人材の採用によって
国際競争力を高めることができる
九州・福岡は優秀な留学生の宝庫

グローバル展開の背景

海外市場を見据え、グローバル化に対応するため

高いモチベーションと挑戦意欲

外国人ならではのユニークな創意工夫力

高度外国人材の積極的採用＝「社内グローバル化」



社員の活性化

新時代に合う会社風土の構築



グローバル人材の採用実績

優秀な外国人留学生の採用

大きな可能性・グローバルな活躍に期待

チュニジア	産学連携推進室 室長	九州工業大学博士課程修了
カナダ	北米マーケット担当	名古屋大学 博士課程修了
中国	国際事業本部所属	福岡大学 大学院卒業（2名）
	技術本部設計課所属	九州大学 大学院卒業
	流体解析スペシャリスト	九州工業大学 博士課程修了
	技術本部設計課	九州工業大学 大学院卒業
ドイツ	国際事業本部所属	同志社大学 大学院卒業
スペイン	大阪支店 国際担当	スペインで日本語通訳として活躍
スリランカ	国際事業本部所属	九州大学 大学院卒業
アメリカ	国際事業本部所属	西南学院大学留学 学位取得
タイ	国際事業本部所属	九州工業大学 大学院卒業
韓国	経営企画室所属	日本経済大学 卒業
マレーシア	国際事業本部所属	九州大学 大学院卒業
フランス	国際事業本部所属	ボルドー大学工学部卒業



日本人グローバル人材（APU、ロンドン大学など）：9名

グローバル人材の活躍

高度外国人材の「自社化」

- ・「本多人」として 現場・現物・現実の考え方・行動を学ぶ ことが重要
- ・社員と積極的に交流し 会社の価値観を学ぶ ことで「本多イズム」を身につけて 海外市場やパートナーと真正面から向き合う！

“企業が真に必要とする人材は「日本人化」した外国人社員ではなく、自社の価値観や業務プロセスなどを深く理解＝「自社化」し、グローバルな環境で新しい価値を創造できる人材である。”

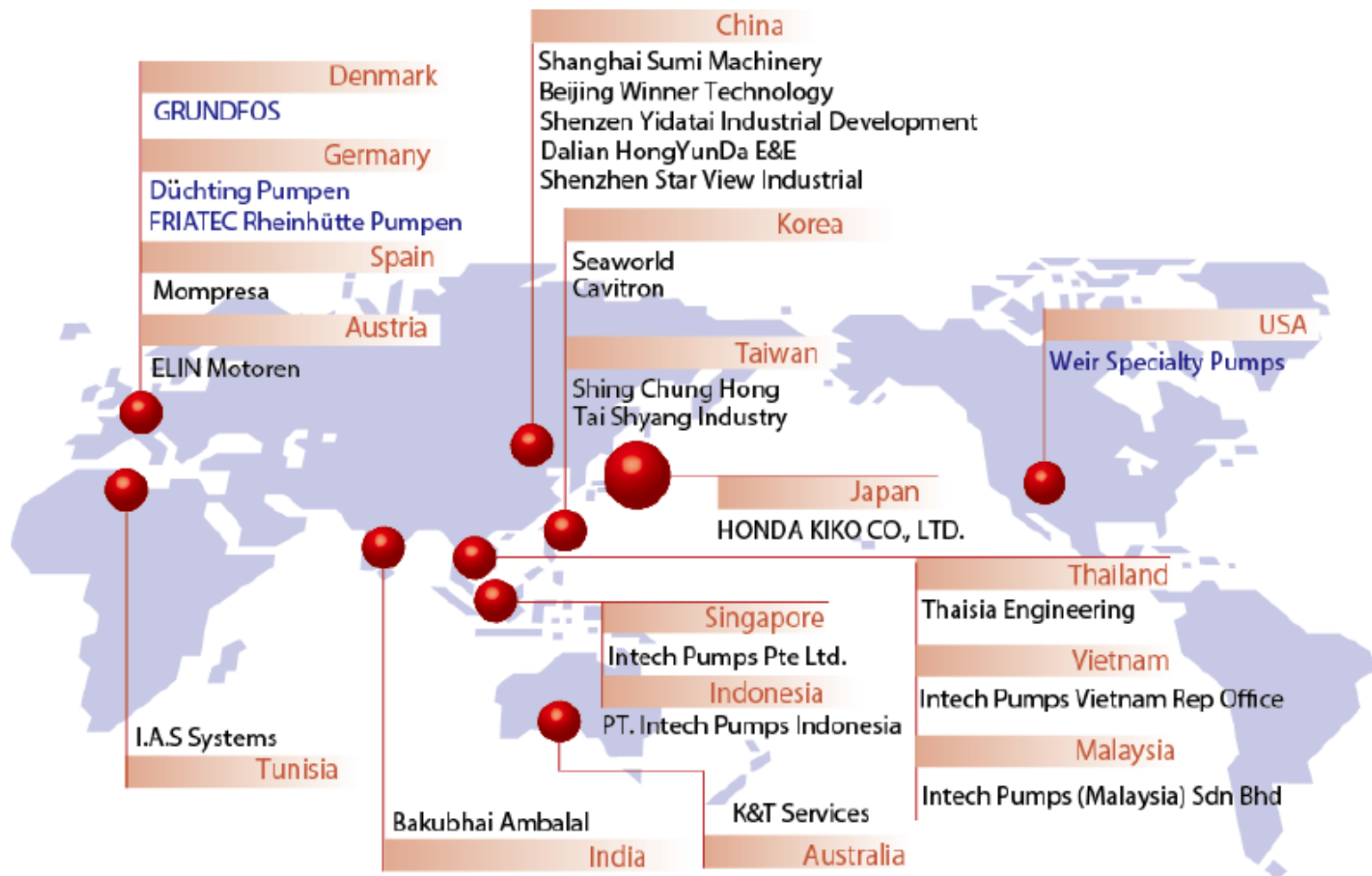
出典：株式会社ジェイエーエス 小平達也
「未来を創造する組織マネジメント」



高度外国人材採用の効果

- ➡ ・ 今までにない化学反応—社内の活性化
(大学に戻り博士号を取得する幹部もでた)
- ➡ ・ こだわりの製品を海外に効果的に発信
- ➡ ・ 言語の壁を無くし、より密接なコミュニケーションと対応で、顧客の信頼を獲得
- ➡ ・ 海外ユーザーの真のニーズをつかみオーダーメイドができる
- ➡ ・ アフターサービス体制の構築
- ➡ ・ グローバルなビジネスネットワークの構築

グローバル ビジネスネットワーク



海外パートナー企業 25社

- ▶ ポンプ・モーター メーカー 4社
- ▶ 代理店・エンジニアリング・サービス会社 21社

グローバル ビジネスネットワーク



Weir Specialty Pumps

高圧ポンプ (NASAの燃料供給ポンプ・高層ビルなど)



グローバル ビジネスネットワーク



Duchting Pumpen Maschinenfabrik GmbH & Co KG.

排煙脱硫 (FGD) 大型循環ポンプ
新特殊材質ミネラルキャスト



グローバル ビジネスネットワーク



Grundfos Japan

汎用ポンプの大手メーカー



グローバル ビジネスネットワーク



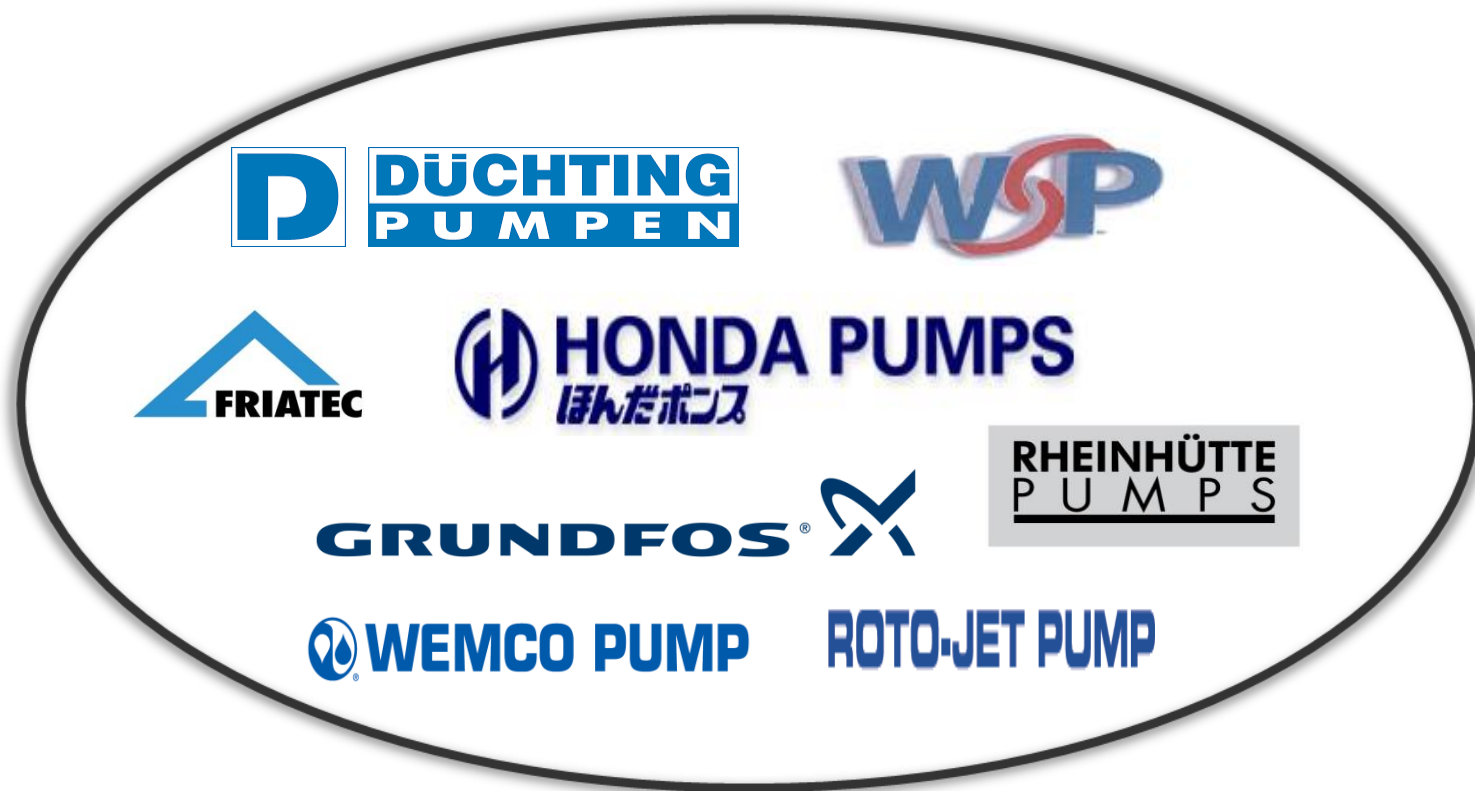
Friatec AG – Rheinhütte Pumpen

プラスチック・セラミックス製ポンプ



グローバル ビジネスネットワーク

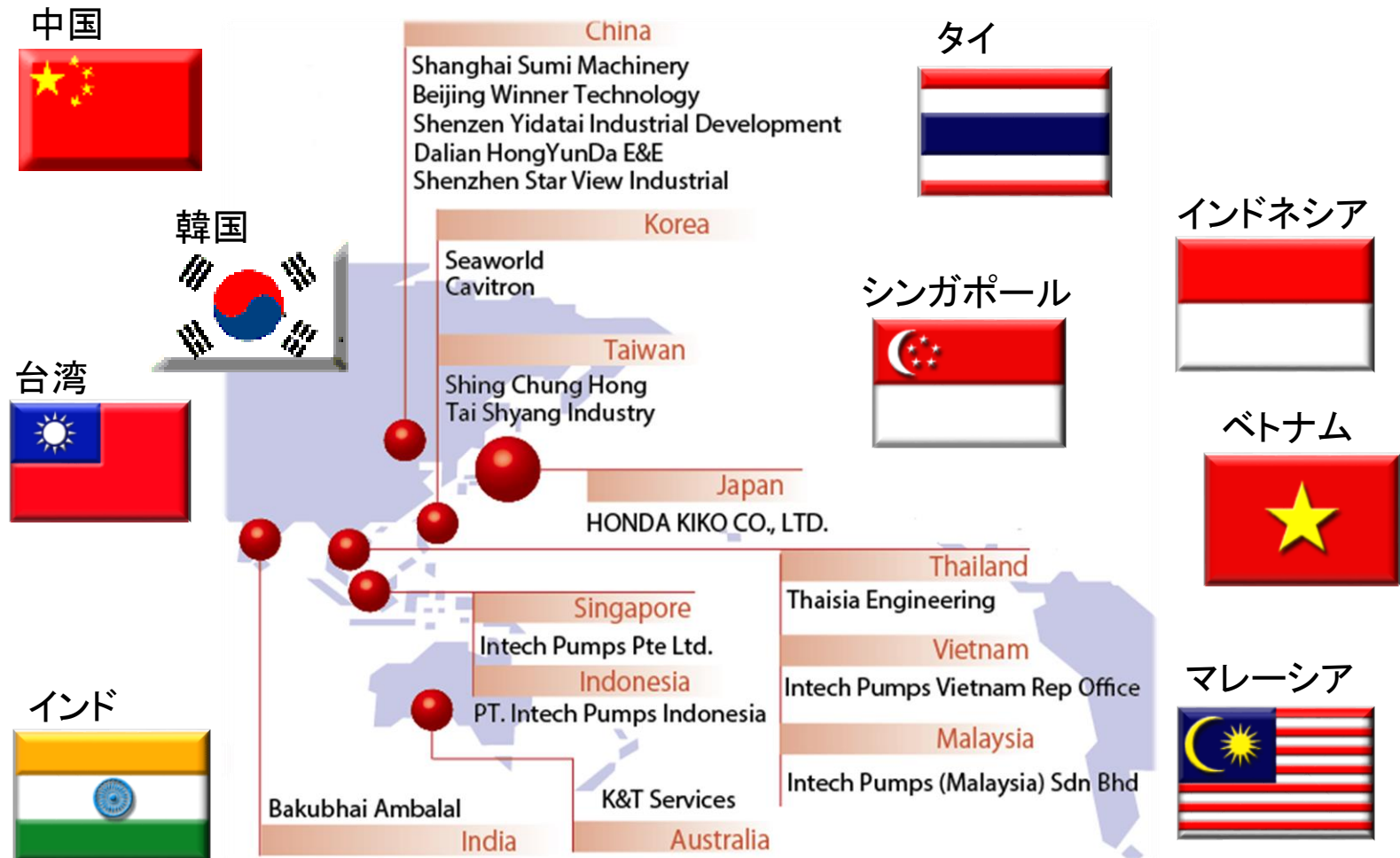
幅広いラインナップで
トータルソリューションを提供



海外プロジェクトなど、幅広い情報をゲット

グローバル ビジネスネットワーク

～アジアの代理店網～



アジアビジネスパートナー



2011年業務提携開始

シンガポール本社

Intech Pumps (Asia Pacific) Pte., Ltd.

マレーシア・インドネシア・ベトナム 支社

PT. Intech Pumps Indonesia

Intech Pumps (Malaysia) Sdn., Bhd.

Intech Pumps Vietnam Rep Office



アジアビジネスパートナー

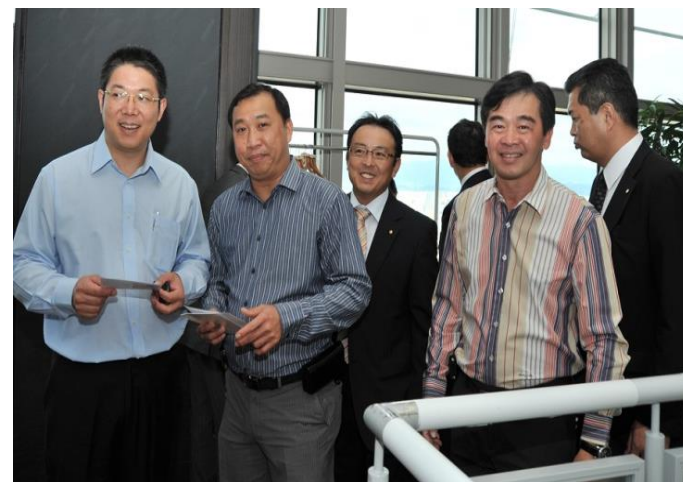


タイ

Thaisia Engineering Co., Ltd.

2010年業務提携開始

THAISIA
ENGINEERING CO LTD



アジアビジネスパートナー



インド

Bakubhai Ambalal



2011年 業務提携契約締結



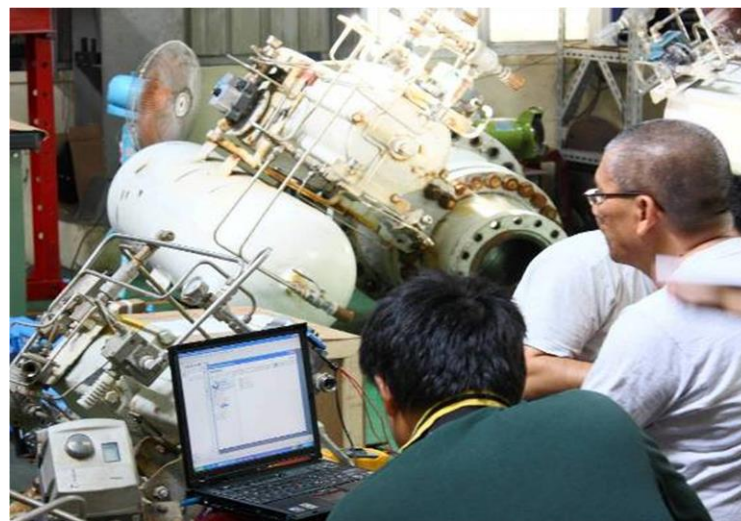
アジアビジネスパートナー



台湾

興中行股份有限公司(SCH Group)

15年以上に渡る提携関係
(台湾での営業・メンテナンス)



HONDA PUMPS 海外での活動



APEC JAPAN 2010 in 横浜



APEC (アジア太平洋経済協力会議)
11月7日～14日のリーダースウィークは
「環境・エネルギー」を大きなテーマとして
横浜で開催



└ ジェトロ環境ゾーンにて
「日本の優れた環境技術・製品」として展示されました

経済産業省 第4回ものづくり日本大賞(2012年)

優秀賞受賞!

製品・技術開発部門

大容量マイクロナノバブル発生装置

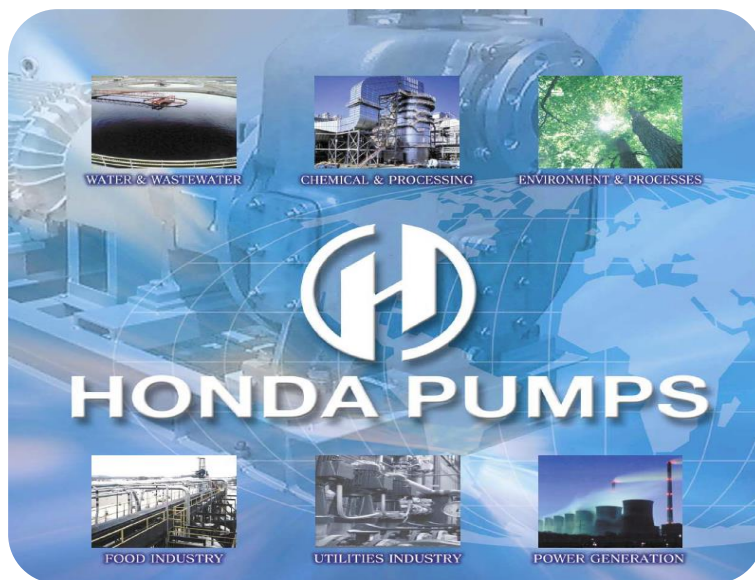


内閣府 大臣表彰

ものづくり日本大賞



本多機工株式会社 は 100年企業を目指しています



ほんだポンプが
100周年を迎えるのは
2050年…

2050年 私達を取り巻く環境は…？

100周年目の本多機工を取り巻く環境

	<u>2017年</u>		<u>2050年</u>
新入社員の年齢:	22歳	⇒	55歳
日本の人口:	1億2,686万人	⇒	9,500万人
(出生数)－(死亡数):	▲31万人／年	⇒	▲110万人／年
65歳以上比率:	27%	⇒	40%

資料:総務省統計局「各月1日現在人口(平成29年1月概算値)」
内閣府「平成28年 版高齢社会白書」
厚生労働省「平成28年 人口動態統計の年間推計」

日本の内需は成熟から大縮退時代へ・・・



九州の人口減少が深刻・・・

九州7県の人口ピークは2006年の1340万人
県別で増加を続けているのは福岡県のみ。

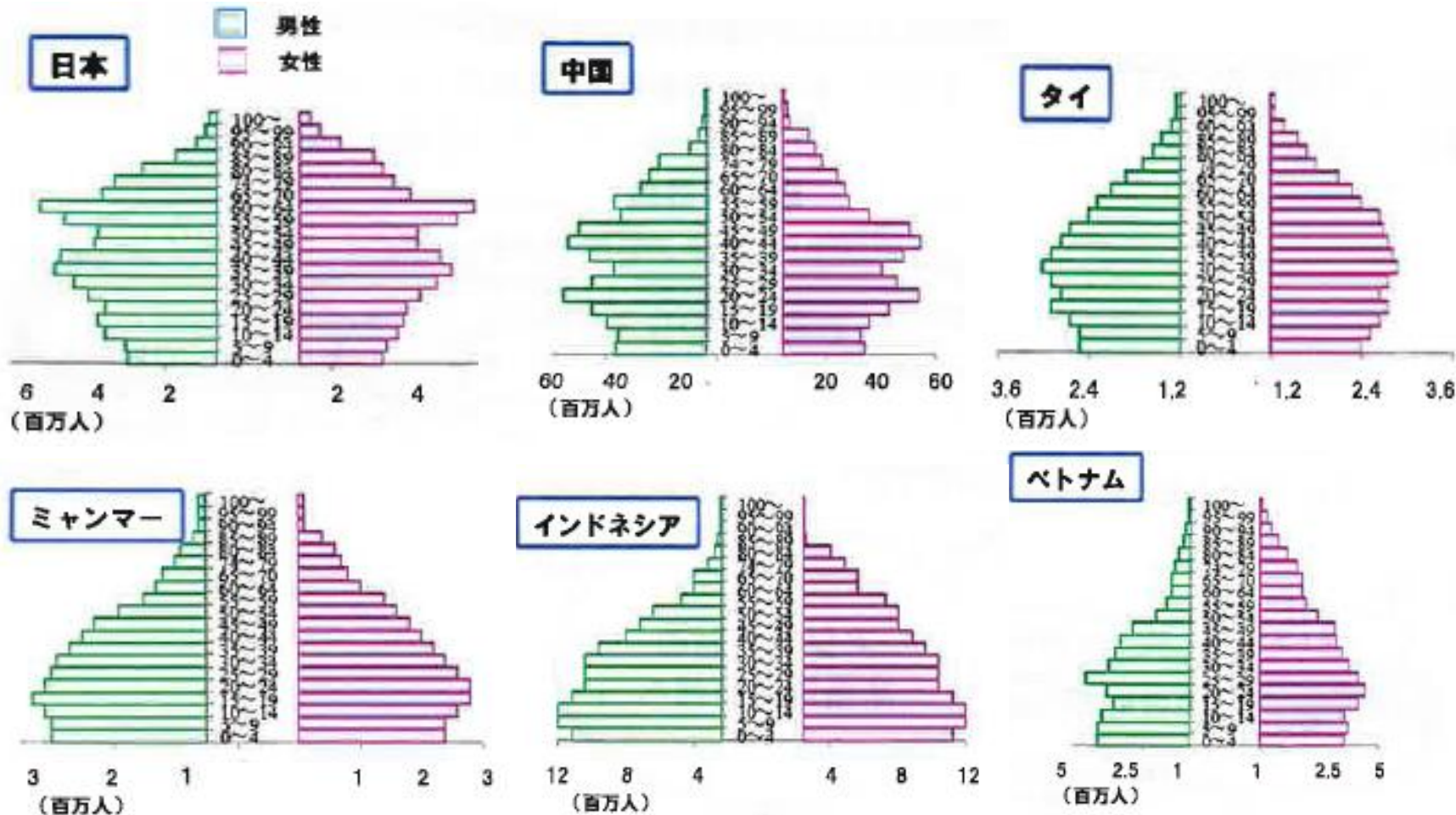
▶ 九州7県の人口推移予測

<u>2006年</u>	→	<u>2025年</u>	→	<u>2035年</u>
1340万人		1221万人		1111万人

- ピークから20年間で120万人減(=大分県人口119万人相当)
- 30年間で230万人減(=佐賀県+長崎県人口220万人相当)

参考: 国立社会保障・人口問題研究所将来推計

国別にみる人口ピラミッドの構図



アジアの経済成長 = 膨大な人口

2015年の世界総人口は約72億1,900万人。

その60%にあたる43億5,100万人がアジアの人口！

100周年目の本多機工を取り巻く環境

2016年 から 2050年...

**世界はアジアを中心として
大成長時代を迎える！**



「チャンスはどこにあるか？」

「チャンスを掴む」

「大成長Areaに漕ぎ出す」

「そして、もう一度世界に勝つ」

グローバル化しているアジア企業には、先進国含めて世界化している企業、
新興国市場を中心に世界化している企業、
リージョナルに多国籍化している企業といったタイプがあげられる。

アジア新興国企業でグローバル化に先行している企業(イメージ)

	韓国	台湾	中国	インド	香港	東南アジア
国営企業	ポスコ		資源会社 国営銀行	資源会社 国営銀行		シンガポール航空 PSA テマセク キャセイパシフィック SingTel
財閥 ファミリー企業	サムスン電子 LG電子 現代自動車 ロッテ	統一企業 旺旺		タタ・グループ マヒンドラ BartiAirtel ランバクシー	長江実業 シャングリラ	CPグループ サリムグループ SMグループ
独立系 ベンチャー等	アモーレ パシフィック NAVER カカオトーク	康師傅 ホンハイ TSMC ジャイアント エイサー メディアテック ASUS	レノボ ハイアール ファーウェイ ZTE BYD テンセント小 米 アリババ	インフォシス Wipro		エアアジア セブ・パシフィック ジョリビー サンミゲル アストラ

アジア企業の特徴

中国企業

- ・大富豪上位にIT起業家
- ・製造業創業者から後継体制
- ・財閥が少なく国営トップベンチャー創業者が中心

韓国企業

- ・財閥の経営者が中心、後継者で苦戦
- ・コスメ、通販、ITが台頭

台湾企業

- ・ハイテク創業者の高齢化と後継者問題

インド企業

- ・財閥経営者中心
- ・一部、IT創業者

香港企業

- ・華僑、華人財閥経営者中心

タイ企業

- ・華人財閥経営者中心
- ・一部土着財閥、欧米型後継体制(サイアム・セメント)

フィリピン企業

- ・華僑系財閥経営者中心
- ・食品、飲食の創業者が台頭

インドネシア企業

- ・華人財閥経営者中心

マレーシア企業

- ・華人財閥経営者中心
- ・一部国営企業

シンガポール企業

- ・国営企業
- ・華僑、華人財閥経営者中心

アジアでは有力な企業が育っており、新興国市場においては 日本企業の競合企業、提携相手、買収対象となる可能性がある

明らかになったこと

アジアで
有力な企業が
育っている

新興国市場への
アプローチの仕方に
様々な方法がある

M&Aに積極的な
アジア企業が多い

日本企業にとっての意味合い

- ・アジア市場を開拓する際の「競合企業」となる可能性がある
- ・アジア市場を開拓する際の「提携相手」となる可能性がある
- ・アジア市場を開拓する際の「買収対象」となる可能性がある
- ・M&Aによる新興国市場開拓
- ・現地有力企業との提携による市場開拓
- ・インドからアフリカ市場開拓、マレーシア・インドネシアからイスラム圏市場開拓
- ・新興国で企業買収する際の「競合企業」となる可能性がある
- ・自社(自社事業)を売却する「受け入れ先」となる可能性がある
- ・新興国で企業買収する際の「パートナー」となり得る

日本企業は、アジア発のグローバル企業の成長をチャンスと捉え
「テコ」として使うことで自らのグローバル化を加速させることができる

日本企業はどうすべき？

アジア発のグローバル
企業は日本にとって
脅威なのかチャンス
なのか？？？

- ・日本に入り損ねている多くの企業を助けて、自らも助ける
 - 事業、ブランド、工場の売却先として考える
 - アジア企業の日本進出をサポートすることをビジネスにする
- ・先進国にはいずれも進出で苦戦しているのでLEADしてあげる
 - 日本企業には米国進出で蓄積されたノウハウがある
 - 技術、ブランドでアジア企業に貢献できるものがある
 - アジア企業と組んでともに先進国市場を開拓する

日本のどのような
“テコ”を使うべきか？

- ・SEAに進出する中小企業、出遅れ企業
 - 現地企業をパートナーに 成長が著しい市場に進出する
 - 華僑ネットワークを利用し、ASEAN経由で中国へ進出する
- ・AFRICAに出る場合の協業
 - インド企業の印僑ネットワークを利用しアフリカ進出する
- ・イスラム圏に出る場合の協業

日本は大きな問題を抱えており国としての展望は暗いが、
地方、企業、個人にとっては世界を相手にしていけば、明るい未来が開ける

日本の展望



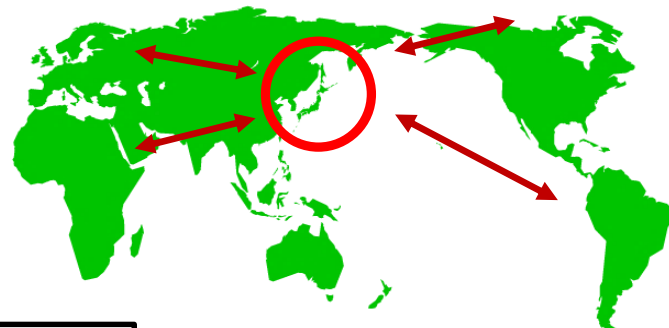
国

- ・ 人口減少、高齢化
- ・ 低欲望社会
- ・ 政府債務残高増加



展望は暗い

地方／企業／個人の展望



地方

- ・ インバウンドを取り込む
- ・ アイデア次第
- ・ ITで海外にプロモート

企業

- ・ 国内の“非常識”な事例を知る
- ・ 海外の突然変異種を研究する
- ・ 新たな“人種”をチームに入れる

人材

- ・ ITを研究して世界とつながる
- ・ 企業に必要な資金、人材を世界から集める
- ・ 一芸に秀でる

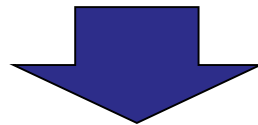
国・中央を向くのではなく、
直接世界を相手にする

世界と戦える地域づくり

➡ グローバル市場に向け

九州地域が戦闘態勢をとる！

アジアの玄関口という地の利を生かし
多様性や多文化を受け入れる事が必要



九州全体の「ダイバーシティ化」が不可欠

中小製造業を取り巻く環境・・・新しいコトが起きている

- ・グローバル化の波により
地方中小企業を取り巻く環境は激変
- ・産業構造が激変
(グローバル化・少子高齢化・人口減少・内需の大縮退)
- ・生き残りをかけてグローバル市場と
向き合う地方中小企業
- ・変わりゆくグローバル市場ニーズを
見極めなければならない



地方銀行、見る目があるか？

経済界が外向きに事業を拡大して行くなかで
多くのリスクと向き合うという実態がある

大企業、都市銀行は 変化に対応し始めている・・・
地方銀行は 変化に対応出来ているだろうか？

従来の延長上には 成長はない！ 未来はない！



産業構造激変 ⇒ 地域金融は対応できているか？
⇒ 行政はついて行けているのか？

企業の実態、変わり行く事業の本質を見て欲しい！

新しい事が起きている今・・・

企業に取り組んでいる事業の価値を評価できているか？

地方の企業価値を創造する 時代に合った価値観を！！

日本の金融も今までのやり方で良いのか・・・？

信用のリスクだけで良いのか・・・？



金融当局が思いを新たにしないと
ダメ！！

内向きから外向きに



各地方金融が内向きから外向きになる必要がある！

ますます国際業務の比重が増える中
地方金融の再編・統合だけでは、内向きな体制固め
グローバル展開の加速が最大の経営アジェンダでは？

- ・ グローバル・オペレーションの構築
- ・ 多様性に富む各ローカルマーケットでのプレゼンス向上
- ・ オペレーション(事務、システム)部門、
プロダクト部門やリスク管理部門の高度化・効率化

外向きマニュアルの見直しが必要！

銀行は企業にとって・・・



- 銀行は信頼できるアドバイザー
「お金」「コト」「モノ」
これまで築いてきた信用⇒より親密な関係へ
- 銀行は価値のまとめ役
企業マッチング、提携、パートナーシップにより
顧客に経済メリットをもたらす

⇒ 銀行はあらゆるものを繋ぐ役割を果たさなければならない
⇒ これをグローバルな規模に拡大する事が急務
⇒ 様々なサポートが可能となる！

地銀のダイバーシティー化

- 海外ネットワークの拡大
- 海外金融機関との提携
- 銀行・金融のダイバーシティ経営
- 英語対応力の強化
- 海外ビジネス専門チーム
- 輸出入関係 スキルアップ
- グローバルリスクへの対応
- 為替リスク対応
- 海外での価値のまとめ役



社会が変わらなければ、 人口動態が示す通りの未来がやってくるだけ

九州の企業・個人はどうすべきか！？

- ・ 未来が明るい国に目を向ける！
- ・ 「よし、これから人口ボーナスを迎える国に行き
日本の優れた商品売り込んでやろう！！」
と思える九州企業、九州人がどれだけ現れるかで
10年後、20年後の九州が決まる



地方の企業・個人のやる気、挑戦を支える
地方金融、地方銀行のバックアップが不可欠

日本経済・産業界の復活を九州地方から！

九州の企業の
99.8%が
中小企業！！

中小企業・地域金融の
国際化への意識改革が重要！

九州中小企業のグローバル化を促進

- ・販路開拓支援（契約手続き補助や、通訳支援、ビジネスマッチング）
- ・交流支援強化（業界別交流会、海外中小企業の視察や留学生交流会など）
- ・国内外大学－企業間の人材マッチング支援
 - 大学での研究分野・専攻に合わせた業界企業とのマッチング

日本の歴史はいつの時代も九州から変わってきた・・・
日本経済、産業界の復活も九州の中小企業から！

アジア時代が到来するなか、
低迷する九州経済を活性化するには？

「日本の九州」ではなく「九州のアジア化」

「アジアからの人流を増やす」
「アジアの活力を九州に取り込む」

- ◆ 九州の伝統ある文化と技術をアジアへ売り込む
- ◆ Made in 九州 (高付加価値九州ブランド) を確立
- ◆ グローバル人材活用によるダイバーシティ化

Figure 1. The effect of the number of trials on the number of correct responses. The number of correct responses was plotted against the number of trials for each condition. The number of correct responses increased with the number of trials for all conditions. The number of correct responses was highest for the condition with the highest number of trials (10 trials) and lowest for the condition with the lowest number of trials (2 trials).



台湾と九州の比較

項 目	台湾 (Taiwan)	九州 (Kyushu)
面 積	36,188 km ²	42,193 km ²
人 口	2,343万人	1,326万人
G D P	5,300億米ドル	4,593億米ドル
輸出額	3,137億米ドル	518億米ドル
輸入額	2,740億米ドル	614億米ドル
外資系企業	約25,000社	約100社

→ ほぼ同じ

→ ほぼ同じ

→ 大きな差

資料: 永池克明著「国際企業経営の大転換」、外務省「台湾基礎データ」
門司税関「九州経済圏貿易概況」より作成

「グローバル化を真剣に進めてきたかどうかの差」

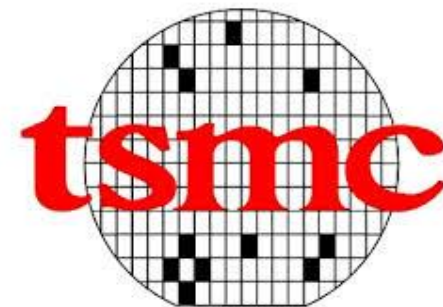
九州がアジアの成長を本気で取り込もうと思えば、
さらなる国際化が不可欠!

世界におどり出た台湾企業



PC世界2位

液晶世界1位

ファウンドリ業界世界1位



自転車生産 世界1位



ファブレスIC企業世界4位



FOXCONN

鴻海科技集團

EMS世界1位



コア事業を見極めて、**専門化**することで、
国際競争力を高めている！

参考資料：BBT総合研究所

Thank You !

ご清聴
ありがとうございました

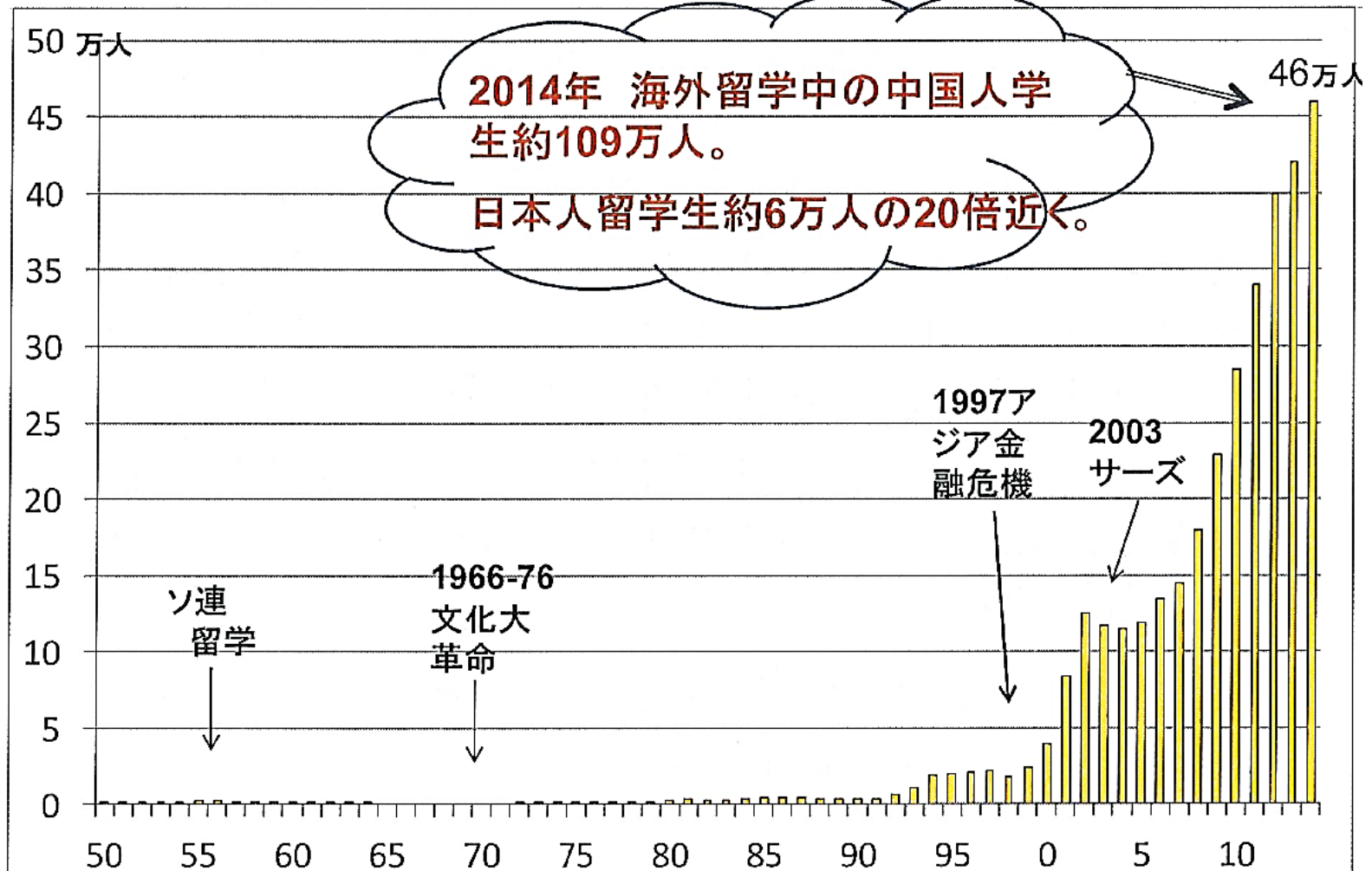


～ ほんだポンプは100年企業を目指します ～

© HONDA KIKO CO., LTD

急増する中国人海外留学

中国人留学生各年出国者数

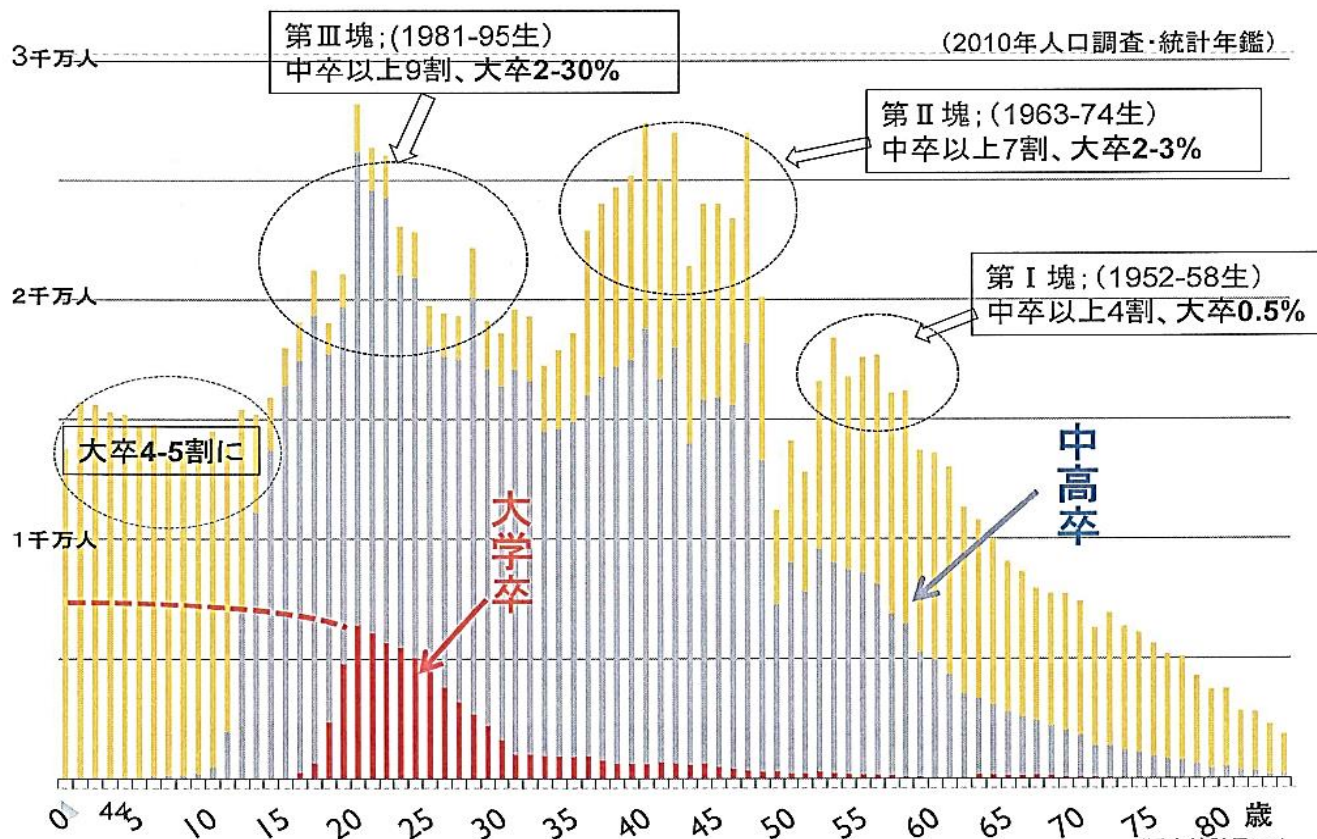


中国人 — 中間層 & 富裕層は増加傾向にある

今後10年間で大学を卒業する中国人学生の総数は7400万人にも及ぶ。

この1980-2000年生まれのミレニアル層は幼少期よりインターネットを使いこなし、海外の情報に触れ、語学教育も経験。海外への抵抗が少ない

中国の団塊の世代(人口と学歴)

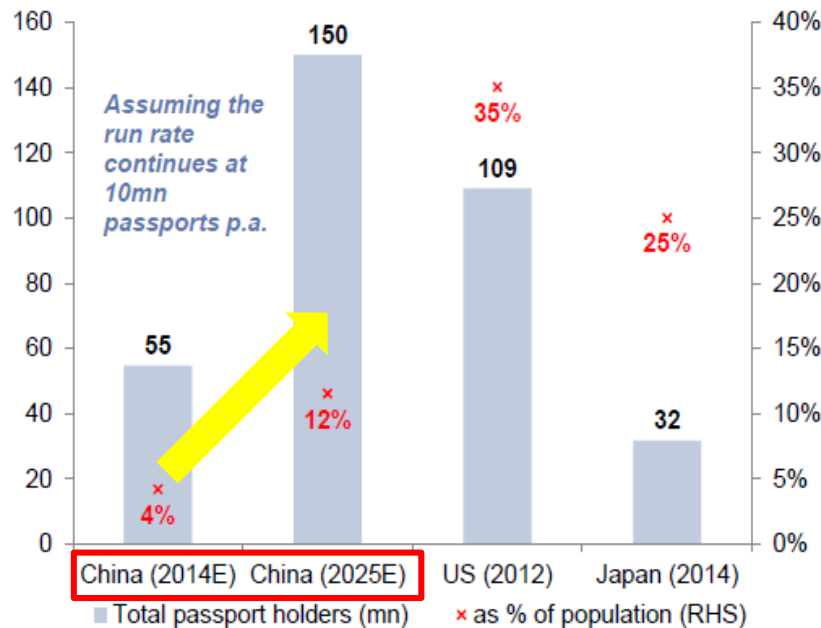


中国人パスポート保有率

中国でパスポートの所有者は現在全体の4%

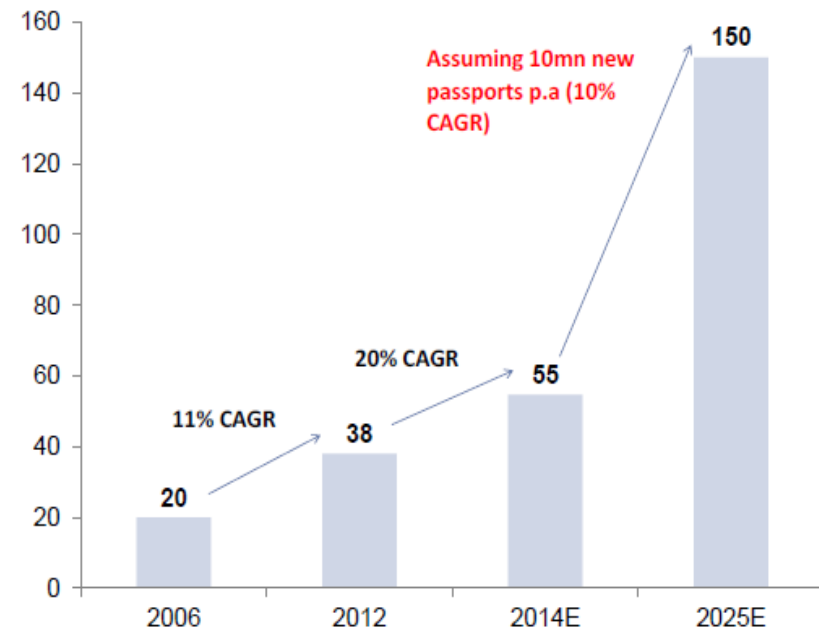
パスポート所持率はアメリカの35%、日本の25%と比べると格段に低い。しかし今後年間で**1,000万枚のパスポート枚数の増加**が予想されており、2025年には**1.5億枚ものパスポート(保有比率12%)**となるといわれている。

各国のパスポート枚数と人口に占める比率



出所: CEIC、ゴールドマン・サックス・グローバル投資調査部

中国のパスポート枚数の推移



出所: CEIC、ゴールドマン・サックス・グローバル投資調査部

地の利を活かし 九州を特別な島に…

日本の歴史はいつの時代も九州から変わってきた…

日本経済、産業界の復活も九州の中小企業から！

➡ 世界のマネーを呼び込む工夫が必要

①九州出島コンソーシアム制度

- ・「**オール九州**」で世界へ ⇒ 海外開拓団
- ・ 複数の中小企業が連帯して製品・システム・サービスなどを組み合わせ「**パッケージ化**」し、一つの手企業のような力をつくる

②九州ブランドセンター構想

- ・ 「**Made in Kyushuブランド**」を確立し、競争力をアップ
- ・ 産業界・官庁・金融機関が連携して、Kyushuブランドを広める
「**マーケティング団体**」を設立

地の利を活かし 九州を特別な島に…

③九州・アジアの中小企業支援センターの充実

- ・ 資金、貿易実務、通訳や契約などの関連業務支援

※きっかけづくりに留まらず、**進出後も継続的な支援**が必要

④地域社会全体の国際化

- ・ メディア放送の内容・表現をグローバル化し

普段から英語に慣れる

- ・ 幼い頃から英語に接する機会を増やす為に、

小中一貫校の設立を推進 英語教育強化

⑤ 伝統ある海外名門大学の誘致

- ・ 留学生を受け入れられる**第二・第三のAPU**を創立！

地の利を活かし 九州を特別な島に…

⑥ 大学教育システムの国際標準化

- ・ 9月入学制度/**セメスター（2学期制）の導入** など

⑦ 留学生をターゲットとした“クール・ジャパン”専門学校創設

- ・ ゲーム, マンガ, アニメ, J-Pop, アイドルなどの
ポップカルチャーや料理, ファッション, 芸術, 伝統文化など
日本を学べるカリキュラムとビザ

⑧ 外国人観光客へのおもてなし

- ・ 言葉だけではない**心からの歓迎**
モスク, ハラルフード, メニューの多言語化、観光ビザ廃止
外国語観光ガイド, 交通機関の標識表示などの充実

地の利を活かし 九州を特別な島に…

⑨ 海外富裕層向けリゾート・観光地開発

- ・ **高級宿泊施設** (リッツ・マリオット・フォーシーズンなど) 開発

⑩ イベントやパフォーマンスの充実

- ・ TAO (博多太鼓) のように九州でしか見ることのできない日本の伝統芸能や芸術を充実させる
- ・ 観光客向けイベント & ショーを定期的に行う

⑪ 高度外国人材の九州定住促進

- ・ 不動産・居住契約のバックアップ
- ・ 在留手続きの簡素化
- ・ 「**グリーンカード**」のような定住サポート体制